

平成26年度当初予算 施策 取組概要

**314 水産業の振興**

(主担当部局：農林水産部)

- 31401 水産業・漁村のマネジメント体制の確立（農林水産部）
- 31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立（農林水産部）
- 31403 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築（農林水産部）

**県民の皆さんとめざす姿**

県内産の魚介類などを安定的に供給できる希望ある水産業・漁村が実現され、県民の皆さんは豊かな水産物等とおして水産県であることのすばらしさを実感しています。

**平成27年度末での到達目標**

県1漁協のもと、さまざまな主体の参加による豊かな海の回復、持続的な水産資源の利用と収益性向上などを図ることにより、県民の皆さんの多様化する期待に応える水産物の安定的な供給が進んでいます。

県民指標						
目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
主要魚種生産額の全国シェア		7.46% (23年)	7.61% (24年)		7.61% (25年)	7.61% (26年)
	7.41% (22年)	7.64% (23年)				
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目の説明	海面漁業における主要18種の生産額の全国シェア					
26年度目標値の考え方	26年度については、27年度の目標数値を維持することとして、27年度目標値と同値としました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
31401 水産業・漁村のマネジメント体制の確立（農林水産部）	県内の沿海地区漁協数		21 漁協	20 漁協		20 漁協	1 漁協
		21 漁協	20 漁協				
31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立（農林水産部）	資源管理に参加する漁業者数		700 人	1,000 人		1,250 人	1,500 人
		441 人	712 人				
31403 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築（農林水産部）	沿岸の浅海域再生面積（累計）		65ha	68ha		71ha	74ha
		63ha	65ha				

## 進捗状況（現状と課題）

- ・地域水産業・漁村振興計画については、新たな 10 地区の計画策定とこれまで策定された計画の実践取組やブラッシュアップを支援しました。今後は計画策定候補地区の掘り起こしや、水産物の商品開発、販路拡大等に取り組んでいる地区の情報を各地区で共有して計画実践を促すことが必要です。
- ・餌に海藻、柑橘、茶葉を入れて育てた「伊勢まだい」と天然マグロを船上で急速冷凍し、旨味を閉じ込めた「もちもちまぐろ」については、県内外の量販店等に対し、積極的な販促活動を行いました。味の良い「一番摘み黒ノリ」や「肉厚あさり」等については、冬場の本格生産に向けた準備を進めました。これらの安定供給体制の確立と販売展開へのPRが必要です。
- ・県 1 漁協合併については、漁業関係団体において合併スケジュールの見直しが検討されており、県としても早期合併に向けた指導を行っています。また、三重外湾漁協の財務改善は、国、県、市町等の支援のもとで計画どおり進んでいます。
- ・水産業の担い手の確保については、就業就職フェア等を通じて、三重県漁業の紹介や漁業就業に係る情報提供を行いました。漁師塾については、平成 24 年度から取り組んでいる 1 漁協に加え、新たに取組む 1 漁協を支援しています。今後は、漁師塾の取組をさらに充実させるため、漁村地区の新規就業者の受け入れや研修体制の構築が課題です。
- ・水産物の安全・安心の確保については、魚病診断や水産用医薬品の残留検査（実施回数 10 回）等の養殖衛生管理の推進や貝毒検査（実施回数 39 回）を実施し、安全を確認しました。局所的な貝毒プランクトン発生時の迅速な検査手法の確立が課題となっています。
- ・水産資源の管理については、平成 24 年度までに認定した 22 の資源管理計画に加え、平成 25 年度新たに 1 件の定置網の資源管理計画を認定し、履行状況確認を行っています。しかし、資源管理計画を策定する際に必要な水産資源の動向に関する知見が不足していることが課題です。また、密漁者に対する監視・取締については、漁業取締船の老朽化に伴う航行の安全性確保が課題となっています。
- ・漁業の経営安定対策については、漁業共済や漁業経営セーフティネット構築事業の説明会等を通じて加入を促進しました。今後も漁業者の加入促進と省燃費機器等の導入によるコストの削減が課題です。
- ・漁場の改善では、特定漁港漁場整備計画に基づき、伊勢湾や熊野灘沿岸の 5 工区において、藻場や干潟の造成を行うとともに、英虞湾において有機物の堆積が多い箇所の底泥浚渫を実施しています。今後とも関係者の合意を得ながら、沿岸域の漁場環境の再生・改善を着実に進めていく必要があります。
- ・漁港施設の長寿命化を図るため、答志漁港他 9 漁港において機能保全計画策定を進めるとともに、これまでに策定された計画に基づき、和具漁港他 5 漁港において保全工事を進めています。今後は、国が定める計画策定終了期間の平成 29 年度までに、計画未策定の 40 漁港で完了する必要があります。
- ・河川等内水面の水産資源の維持・増大をめざし、内水面漁協が実施したアユの種苗放流及びカワウ等の駆除を支援し、魚類等の生育に適した環境づくりを促進しています。しかし、カワウ等の捕食による漁業被害が拡大していることから、カワウ等の駆除の強化を図る必要があります。
- ・漁業操業の安全確保のため、水産団体や海上保安部と連携を図りながら、漁業者に対し、救命胴衣着用推進などの安全啓発活動を行いました。今後、沖合で操業するカツオ・マグロ漁船等に船舶自動識別装置の導入促進を行う必要があります。
- ・水産業は、為替変動や原油価格上昇に伴う燃油・飼料代の高騰やTPP交渉への参加などの社会情勢への変化による影響を直接受けやすいため、水産県である強みを発揮し、ものづくり企業との連携を進め、成長産業化を図る必要があります。

## 平成 26 年度の取組方向

- ・地域水産業・漁村振興計画については、新たな 10 地区の計画策定と平成 25 年度までに策定を行った地区（23 地区予定）の実践取組や計画のブラッシュアップを支援します。また、水産庁が新たに提示する「浜の活力再生プラン」の策定につなげ、地区の特性に応じた水産業・漁村の活性化をさらに促進していきます。

- ・「伊勢まだい」や「もちもちまぐろ」等について、生産体制の強化を進めるとともに、「みえフードイノベーション・ネットワーク」等を活用して、企業等とのマッチングによる販路拡大を進めます。
- ・県1漁協合併については、県内全ての沿海地区漁協の組合長等で構成された「三重県漁協合併推進協議会」で決定される新たな合併スケジュールに基づき、合併準備が進むよう支援します。また、三重外湾漁協の財務状況の改善に向け、国・市町等と連携して支援を継続します。
- ・水産業の担い手の確保については、漁師塾のさらなる充実に向けて、市町、漁連、関係団体等との連携を強化し、地域ごとの実情に応じて、若者等が円滑に就労できる体制作りに取り組みます。
- ・安全で安心な水産物を安定的に供給するため、引き続き、養殖衛生管理指導の推進、市町、水産関係団体等と連携した検査を実施しつつ、局所的な貝毒プランクトン発生時の迅速な検査手法の確立に取り組みます。
- ・水産資源の管理については、漁業者が資源管理計画を検討する際に必要な水産資源の動向に関する研究を進め、資源管理計画策定を促進します。また、密漁者に対する監視・取締については、漁業取締船の安全確保対策を検討します。
- ・漁業の経営安定対策については、引き続き、説明会等を通じて、漁業共済及び漁業経営セーフティネット構築事業へのさらなる加入と省燃費機器等の導入を促進します。
- ・漁場の改善については、伊勢湾や熊野灘沿岸での藻場や干潟の造成、英虞湾での浚渫等、沿岸域の漁場環境の再生・改善を関係者の理解を得ながら着実に進めていきます。
- ・漁港施設の計画的な予防保全を図るため、機能保全計画の策定を図るとともに、保全工事を進め漁港施設の長寿命化を図るなど、安全で使いやすい漁港施設の整備に取り組みます。
- ・河川の水産資源の維持・増大については、引き続き、アユの種苗放流及びカワウ等の駆除を支援し、魚類等の生育に適した環境づくりを促進します。
- ・海難事故の未然防止を推進するため、海上保安部等関係機関と連携を図りながら、漁業者やこれから漁業を始めようとする方が安心して操業できるよう、船舶自動識別装置の導入促進等安全確保に向けた啓発に努めます。
- ・水産業の成長産業化を図るため、多様な担い手の確保・育成に取り組む「新たな協議会」設置、水産物の計画生産に向けた体制整備、海女の漁獲物の商品化等海女漁業の振興、輸出に対応した水産物流通の検討、美容・健康・教育面などの視点を組み合わせた魚食普及活動の推進などに取り組みます。

## 主な事業

### 農林水産部

- 水産業・漁村振興計画推進事業【基本事業名：31401 水産業・漁村のマネジメント体制の確立】  
 予算額：(25) 18,070千円 → (26) 2,276千円  
 事業概要：地域自らが取り組む「地域水産業・漁村振興計画」について、新たな10地区の計画策定と平成25年度までに策定した地区での計画の実践やブラッシュアップを支援します。
- 産学官連携「みえのリーディング水産商品等」開発事業【基本事業名：31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立】  
 予算額：(25) 16,803千円 → (26) 7,551千円  
 事業概要：マダイ、ノリ、アサリ、マグロ等の三重県を代表する水産物について、「みえフードイノベーションネットワーク」を活用して、産学官のさまざまな主体の知識や技術等を結集し、新たな商品開発、生産体制の強化、販路の拡大等を進めます。

- 外湾地区合併漁協早期自立支援事業【基本事業名：31401 水産業・漁村のマネジメント体制の確立】  
予算額：(25) 51,172千円 → (26) 70,343千円  
事業概要：三重外湾漁業協同組合が、漁業者の生産基盤を支え、漁業・漁村の活性化に貢献できる経営基盤を早期に確立することを目的に、国・市町等と連携して支援を継続します。
- 漁業版就職支援事業【基本事業名：31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立】  
予算額：(25) 1,538千円 → (26) 1,077千円  
事業概要：若者などの水産業への就業・就労を促進するため、漁協が取り組む人材育成や就業・就労支援を行う新たな仕組みである漁師塾を、県と系統組織が支援し、拠点モデルの構築を行います。
- 消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業【基本事業名：11302 農水産物の安全・安心の確保】(再掲)  
予算額：(25) 1,346千円 → (26) 1,117千円  
事業概要：水産物の安全・安心の確保を図るため、魚病診断や養殖衛生管理指導、市町、水産関係団体等と連携した貝毒検査を実施します。
- 資源管理体制・機能強化総合対策事業【基本事業名：31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立】  
予算額：(25) 8,017千円 → (26) 9,172千円  
事業概要：水産資源の持続的利用を図るため、漁業者が計画的に資源管理に取り組める体制の構築及び支援を行います。
- 三重の未来を紡ぎ繋げる漁業振興事業(モデル構築支援水産基盤整備)【基本事業名：31403 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築】  
予算額：(25) 21,000千円 → (26) 262,500千円  
事業概要：英虞湾の堆積汚泥を浚渫により除去し、海域環境を改善することにより、青ノリ、真珠等の品質向上を図ります。
- 県営水産物供給基盤機能保全事業【基本事業名：31403 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築】  
予算額：(25) 301,000千円 → (26) 315,000千円  
事業概要：既存の漁港施設における健全度を把握し、計画的な修繕及び工事を行うことにより、ライフサイクルコストの最小化を図るとともに、施設の長寿命化を図ります。
- 内水面域振興活動推進事業【基本事業名：31403 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築】  
予算額：(25) 3,060千円 → (26) 2,161千円  
事業概要：内水面漁業の振興を促進するため、内水面漁業協同組合等が行うアユの種苗放流、カワウ・外来魚の駆除対策を支援します。
- (新)新規漁業就業者定着支援事業【基本事業名：31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立】  
予算額：(25) ー千円 → (26) 10,260千円  
事業概要：若者等の円滑な漁業就業と地域への定着を実現するため、技術や知識習得に必要な教材等の作成、就業時の経済的不安解消への対策を実施するとともに、多様な担い手の確保・育成に向けて、市町、漁連等関係機関による新たな協議会の設置・運営を支援します。

- （新）養殖業の計画生産促進対策事業【基本事業名：31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立】  
予算額：(25) ー 千円 → (26) 3, 0 0 0千円  
事業概要：養殖業の競争力を高めるため、需要に見合った生産により魚価の安定を図る「計画生産」の導入に向けたマーケティング調査を行うとともに、小規模な経営体が多い三重県の生産・販売戦略を検討します。
  
- （新）海女漁業資源増大対策事業【基本事業名：31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立】  
予算額：(25) ー 千円 → (26) 2 0, 5 2 6千円  
事業概要：海女の漁業収入の安定化を目的として、資源減少が著しいアワビの放流種苗の大型化に係る実証試験や海女の貴重な収入源である赤ナマコの種苗生産技術を開発します。
  
- 海女漁業等環境基盤整備事業【基本事業名：31403 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築】  
予算額：(25) 4 7, 8 5 0千円 → (26) 5 2 2, 4 5 0千円  
事業概要：海女漁業等の沿岸漁業に重要なアワビなどの水産資源の回復を図るため、藻場・干潟の再生・造成を行います。
  
- 海女漁業資源回復実証事業【基本事業名：31403 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築】  
予算額：(25) 2, 0 0 8千円 → (26) 3, 0 0 0千円  
事業概要：海女漁業に重要なアワビの資源回復を図るため、繁殖保護に必要な水産生産基盤の効果的な造成を実証試験する市町に対して支援します。
  
- （新）魅力あるみえの水産物流通戦略構築事業【基本事業名：31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立】  
予算額：(25) ー 千円 → (26) 9, 0 6 5千円  
事業概要：県産水産物の付加価値を向上させ、消費者にとって魅力あるものにするために、資源管理と生態系への影響の配慮を認証するマリンエコラベルの取得を促進するとともに、国内販売や輸出に向けた水産物流通戦略の検討を行います。
  
- （新）みえの魚食普及推進事業【基本事業名：31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立】  
予算額：(25) ー 千円 → (26) 1 1, 0 0 4千円  
事業概要：消費者の魚離れに歯止めをかけ、水産物の消費拡大を図るため、「魚を買いたくさせる魚食普及ができる人材の育成」や「魚を食べたくなる消費者づくり」等の魚食普及に取り組みます。